



② 「患者情報エディタ」の設定

 株式会社 EMシステムズ

#	マニュアル名	マニュアル内容
①	「患者情報エディタ」を用いた運用	<u>障害時の運用について、事前に院内で確認・ルール決めが必要です。</u> 患者情報エディタを用いた運用例を説明しています。
②	「患者情報エディタ」の設定	患者情報エディタを使用する場合、 <u>MAPs for CLINICにて事前設定</u> が必要です。その設定について説明しています。
③	「患者情報エディタ」操作マニュアル 【パターンA】	実際に障害が起こった際に # ①における <u>パターンAの運用の場合の</u> <u>操作</u> を説明しています。
④	「患者情報エディタ」操作マニュアル 【パターンB】	実際に障害が起こった際に # ①における <u>パターンBの運用の場合の</u> <u>操作</u> を説明しています。

本マニュアル

1. 一括ダウンロード

患者情報エディタを使用する端末では、はじめにデータの一括ダウンロードが必要です。

この作業は、システム管理者の権限があるユーザーIDでログインします。

また、設定はPC端末ごとに行ってください。

① 業務メニュー＞環境設定＞メンテナンスメニュー＞患者情報エディタ用データ設定をクリックします。

メンテナンスメニュー

カテゴリ

- システム基本設定
- 患者情報エディタ用データ設定**
- 設定の初期化
- オンライン資格確認操作
- オンライン資格確認 (連携設定)
- 電子処方箋管理サービス設定
- 介護請求設定

新規追加 削除

患者情報エディタ 機能の利用

患者情報エディタ機能の利用について設定することができます。
端末にデータダウンロードを行った後、何らかの理由で利用を取りやめたい場合は、「しない」を選択してください。
ログアウト時にデータダウンロードのダイアログが表示されなくなります。

適用範囲 端末ごとの設定

患者情報エディタ機能の利用

する しない

患者情報エディタ 一括ダウンロード

夜間に自動生成している患者情報エディタ用のデータを、操作端末に一括ダウンロードします。
データ量によって時間がかかりますので、時間に余裕がある時に実行してください。
なお、機能の利用が「しない」の場合は、利用できません。

適用範囲 端末ごとの設定

患者情報エディタ用のデータをこの操作端末に一括ダウンロードする

Esc 閉じる

F12 保存

データ量により、時間がかかる場合がある為、
余裕のある時間で設定をお願いします。

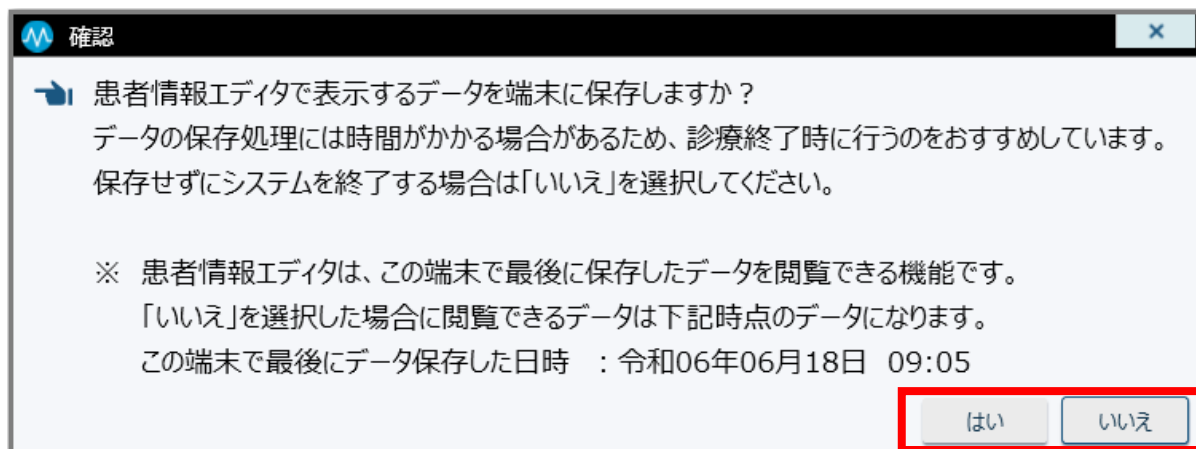
一括ダウンロードをクリックします。
「マスタ情報を取得しています」のメッセージが表示
されますので、メッセージが消えるまでお待ちください。



「保存」をクリックし、
画面をとじます。

1. 一括ダウンロード

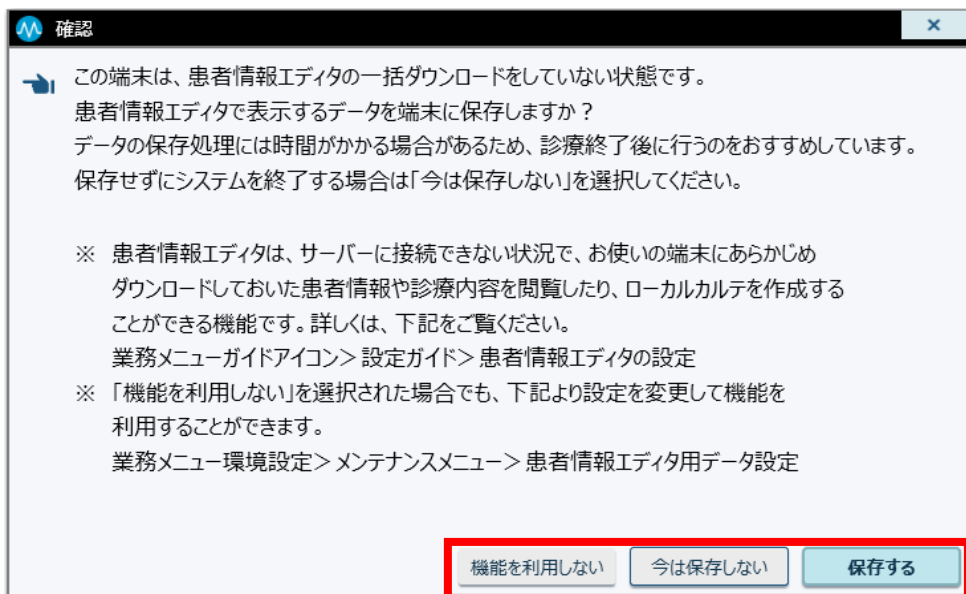
② 一括ダウンロード完了後、システム本体終了時に下記のメッセージを表示し、差分ダウンロードを行います。



「はい」：差分ダウンロードを実行

「いいえ」：差分ダウンロードを実施しないでそのまま終了

※患者情報エディタを使用する端末で、一括ダウンロードができていない場合、システム終了時に下記メッセージを表示します。



「機能を利用しない」：該当端末で患者情報エディタ機能がOFF

「今は保存しない」：一括ダウンロードを実施しないでそのまま終了

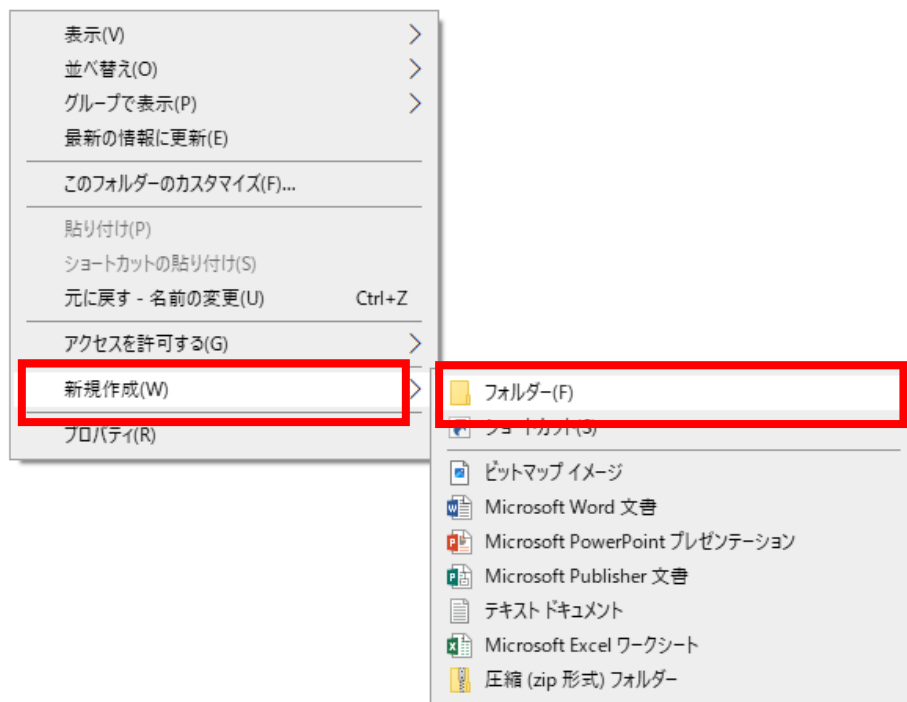
「保存する」：一括ダウンロードを実行

システム終了時に、差分のデータをダウンロードしますが、患者の保険情報や新患の情報は、システム終了時ではなく、受付情報更新時に、最新の情報を患者情報エディタで確認ができるようにするための設定です。

① 患者情報エディタを使用する端末に、常時連携設定のための共有フォルダを作成します。

- ・ 共有フォルダは、デスクトップに作成します。（任意の場所に作成していただいても構いません）
- ・ 共有フォルダの名称は、「患者情報エディタ_常時連携」で作成します。（任意の名称に変更していただいても構いません）
- ・ 共有フォルダは、患者情報エディタを使用する端末ごとに作成します。

※マウス右クリック> 新規作成> フォルダー で共有フォルダの作成ができます。



2. 常時連携設定

② 業務メニュー＞環境設定＞メンテナンスメニュー＞患者情報エディタ用データ設定をクリックします。

メンテナンスメニュー

最終更新者 最終更新日時

患者情報エディタ 常時データ連携設定

ログアウト時のデータダウンロード以外にも、運用中に常時データ連携を行う場合は、端末とその端末の連携先フォルダを指定してください。（例：¥¥192.168.xx.xx¥KarteEditorCsv）患者属性更新時に随時データ連携を行い、患者情報エディタで最新の情報を閲覧することができます。
※ 患者情報エディタでも、連携先フォルダの設定が必要です。

適用範囲 施設全体

端末名	アカウント	パスワード	連携先フォルダ
AS18-000214	karteuser	●●●●●●●●	C:¥Users¥B11889¥Desktop¥患者情報エディタ_常時連携

(1) 患者情報エディタ用データ設定

(2) 新規追加

(3) 連携先フォルダ

(4) 連携先フォルダ

患者情報エディタ 機能の利用

患者情報エディタ機能の利用について設定することができます。
端末にデータダウンロードを行った後、何らかの理由で利用を取りやめたい場合は、「しない」を選択してください。
ログアウト時にデータダウンロードのダイアログが表示されなくなります。

適用範囲 端末ごとの設定

Esc 閉じる F12 保存

- (1) カテゴリーより「患者情報エディタ用データ設定」を選択
- (2) 「新規追加」ボタンから、自端末の端末名を選択します。
- (3) 自端末のアカウント・パスワードを登録します。

※MAPs for CLINIC へのログインID・パスワードではありません。

- (4) 連携先フォルダを登録します

①の手順で作成した共有フォルダを開き、共有フォルダの上部より、パスをコピーして、連携先フォルダ欄へ貼り付けてください。

※以下は一例です。共有フォルダの作成場所、ファイル名、PC端末によりパスは異なります。

患者情報エディタ_常時連携設定

ファイル ホーム 共有 表示

C:¥Users¥B11889¥Desktop¥患者情報エディタ_常時連携設定

名前 更新日時

2. 常時連携設定

③ 患者情報エディタへログイン、起動し、患者情報エディタ側の設定を行います。

患者情報エディタ

受付一覧 患者で調べる

患者・受付更新 ? ≡

プリンター設定

データ連携設定

受付日 R06.07.23 今日 + ローカル来院追加 + ローカル新患追加

ローカルカルテ入力機能で入力したカルテデータは、電子カルテシステム本体の作業メニュー「ローカルカルテ」機能で呼び出すことができます。ネットワーク障害などでクラウドに入力できない場合はローカルカルテを作成し、復旧後にカルテに適用してください。ローカルで追加した患者、来院情報は電子カルテシステム本体への書き戻しは行われません。復旧後に手動で登録してください。

来院	受付時刻	患者番号	患者氏名	フリガナ	生年月日	性別	状況	受付コメント1	最終来院日	ローカル患者	ローカル来院	ローカルカルテ	ローカル患者マテ	ローカル保険マテ
----	------	------	------	------	------	----	----	---------	-------	--------	--------	---------	----------	----------

設定

常時データ連携設定

MAPs for CLINIC の業務メニュー> 環境設定> メンテナンスメニュー> 患者情報エディタ用データ設定にて登録した連携先フォルダーを設定してください。

患者情報エディタ起動時、「患者・受付更新」ボタンクリック時に、連携先フォルダーに出力されているファイルを取り込み画面上に反映します。

適用範囲 端末ごとの設定

連携先フォルダー

Esc 閉じる F12 登録

プリンター設定

各帳票を印刷する際のプリンターを選択しておくことができます。

適用範囲 操作端末ごとの設定

帳票名	プリンター名
会計	通常使うプリンター
指示箋	通常使うプリンター
処方箋	通常使うプリンター

Esc 閉じる F12 登録

患者情報エディタ画面の右上 より、設定を行います。

- (1) プリンター設定・・・帳票ごとに患者情報エディタより印刷するプリンターを設定し、「登録」します。
- (2) データ連携設定・・・②の(4)で登録した連携先フォルダーを「フォルダーアイコン」から選択し、「登録」します。



TX | **Thanks
Transformation**

医療・介護を「#ありがとう」に変えていく

